

日本 GIF 2024 年度 夏期インターンシッププログラム 実施報告書（概要版）

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

実施概要

- 大学の学部生を対象に、調査研究体験を通じて、グローバル・インフラストラクチャーへの関心を喚起することを目的とする。
- 10名のインターンを5名×2チームに分け、具体的なグローバル・インフラに関する調査研究テーマを与える。
- 夏期休暇中（約2ヶ月間）に、チューターのオンライン指導の元、チームで調査研究を実施。成果発表、学術論文形式の論文作成を行う。

今年度の調査研究テーマ

- テーマ：「離島における『蓄電インフラ』導入可能性評価」
- 対象地域：ミクロネシア連邦のポンペイ島およびセーシェル共和国のマヘ島
- 各チームに、抽選で蓄電インフラ方式を割り当て、それぞれの評価を実施
 - ポンペイ島チーム：蓄電池・フライホイール・水素
 - マヘ島チーム：揚水・空気の圧縮・メタン

実施形式

- 8月初旬：東京都内の研修型ホテルにて、1泊2日の宿泊型対面ミーティングを実施。自己紹介、調査研究テーマについての説明、論文の書き方についてのレクチャー、懇親会、2チームに分かれてのチームミーティングを行った。
- 8月～9月：チューターの指導によるオンラインミーティングを4回実施。
- 10月初旬：東京都内の研修型ホテルにて1泊2日の宿泊型対面ミーティングを実施。チームミーティングの後、成果発表会を実施（有識者が講評者として参加）。記念撮影、昼食会、修了証の授与を行った。後日、論文を提出。

アンケート・感想

プログラム終了後、参加したインターンに対し、アンケートへの回答を依頼した。本プログラムを知った経緯、参加を決めた理由や魅力に感じた点、本プログラムに対する評価とその理由、参加を通じて「グローバル・インフラストラクチャー」への関心が高まったかどうか、感想、要望等、貴重な意見を得た。



以上